

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [ライフプラン](#) | [家族成長期のライフプラン](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

家族成長期のライフプラン

1. はじめに

家も買った、上の子が中学生になった。家族の形がはっきりと定まり、「家族が共にささえあって生活する」のが家族成長期以降です。収入は以前より増えましたが、その分消費も増え、経済的なゆとりはあまり感じられないかもしれません。この時代は、住宅取得した方は住宅ローン返済、子供の教育という大きな責任が重くのしかかり、大学進学のための資金を貯めていく時期です。同時に、そろそろ自分達の退職後も視野に入れた、資産づくりも考えなくてはなりません。

2. マネープラン

なかなか貯蓄ができない場合には、まずムダな支出の洗い直しが必要です。支出の優先順位を決め、必要性の低い支出はカットする努力をしましょう。住宅ローンの金利などを点検してムダがないか点検しましょう。また、子供を含めた家族全員で話し合い、家計の現状について共通認識を持つておく必要があります。40歳になったら月1万円ずつでも、退職に向けて財形年金貯蓄の積立を始めることをお勧めします。

3. 保障プラン

子供が小さい頃と違って、独立までの年数が短くなり、必要保障額が小さくなります。その分、必要保障額を超える遺族保障額を減額することができます。保障の点検でカットした保険料は他の支出に使ったり貯蓄に回したりすることが可能になります。年齢とともに健康に対する不安は増し、医療保障の増額を検討する家庭が多くなってきます。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.